

定期健診

治療と予防が一段落したら定期健診となります。生涯にわたって口腔の健康を保つためには定期的な受診がとても重要です。



虫歯や歯周病の
早期発見・早期対応

歯科診療に対する
協力性の持続

口腔健康管理に対する
意識の継続

どんなことをするの？

- 全身状態や服薬状況、日常生活の様子などの確認
- 口腔内診査・歯磨き診査
- 口腔保健指導や予防処置 など



定期健診の間隔は口腔内や全身状態・生活環境・協力性などにより一人ひとり異なります。担当歯科医師・歯科衛生士と相談して決めていきます。

保護者・介助者の方へのお願い



患者さんとスタッフとの信頼関係を築き、円滑に診療を進めるために、保護者・介助者の方にご理解・ご協力いただきたいことがあります。

- 1 「歯医者」や「注射」を日頃叱るときの手段に使うのはやめましょう。
- 2 「見るだけ」「何もしない」等、嘘でごまかしながら連れてくるのはやめましょう。診療内容がわからない時や言いにくい場合は「先生に聞いてみよう」と話しましょう。
- 3 ご褒美(物や食べ物など)を条件に連れてくるのはやめましょう。診療後は頑張ったことに対して十分に褒め、達成感を与えるようにしましょう。
- 4 日常生活の中で一定時間我慢することや、「お口開いて」等の指示に従うことは、歯科診療の練習につながります。毎日の歯磨き等日常の中で心がけてみてください。
- 5 「安全で確実な診療」を行うため、また、「困難を乗り越えるきっかけづくり」のため、スタッフがお手伝いすることがあります。その際は協力状態の変化を見ながら行い、いずれは自分一人で出来るように働きかけていきます。

(2014.4)

治療と予防



東京都立心身障害者口腔保健センター

お口の健康からQOL*の向上をめざして ~安全で質の高い歯科診療を提供します~

* QOL : 生命・生活・人生の質

歯とお口の健康は、全身の健康や快適で豊かな生活・人生を送る上で重要です。

センターの歯科診療は、口腔だけではなく、疾患の程度や全身状態・日常生活の様子・歯科診療に対する協力度など患者さんの**全体像を把握**することから始めます。その情報をもとに一人ひとりに合った**診療計画**を立て、**安全で良質な診療**を提供していきます。

治療

一人ひとりに適した対応方法でトレーニングを行います。スタッフとの信頼関係を築きながら、歯科場面や器具・器械に対する不安・恐怖心を少しずつ取り除いていきます。

はじめての場所や人が苦手



注射や削る器械への恐怖

何をされるのかわからない不安

基本的な対応方法



まずは見慣れている歯ブラシからはじめることで、不安・恐怖心をやわらげます。

〇〇くんの歯ブラシだよ



歯医者さんの鏡で見るよ

使う器具を見せたり、実際に触らせたりしながら、わかりやすい言葉で説明します。



いつまで我慢すればよいのかわかるように、10を数えながら行います。



がんばってるね

褒めたり励ましながら行い、やる気や自信をつけていきます。

毎回同じ流れや方法で関わることで先の見通しをつけ、**不安や恐怖心の軽減**をはかります。また、少しずつ**刺激**を強くしていき、歯科診療に対する**適応力**をさらに高めます。いずれは**地域の歯科**に通えるようになることを目指して練習を繰り返していきます。

予防

患者さん一人ひとりに適した支援で、歯と口の健康づくりをサポートしていきます。



元気な身体



誤嚥性肺炎の予防



爽やかな息で楽しい会話



何でもおいしく食べられるよ!



虫歯の痛みもなく健やかな生活

口腔保健指導



生活習慣指導

(間食・食生活・生活リズム・喫煙・運動など)
生活環境は口腔の健康に大きく影響します。日常生活習慣を整えるための助言や指導を行います。



歯口清掃指導

(患者さん・保護者・介助者によるブラークコントロール)
快適で効果的な歯磨きの方法をアドバイスします。



自立支援

(歯みがき、うがい、舌・口唇・頬の運動など)
患者さん自身が持っている能力をさらに引き出すために、歯磨きやうがい等の練習を行います。

予防処置



プロフェSSIONAL トゥースクリーニング: PTC

(歯面清掃・歯石除去・歯周ポケット内のケア)
虫歯・歯周病予防のため器械を使って専門的な清掃を行います。

シーラント (予防充填)

深い溝に虫歯予防のつめものをします。



フッ素塗布

歯を強くするお薬を塗ります。